

# 光れ！そえひっ子



平成 20 年 10 月 15 日発行

連絡先: 電話 73-2312 FAX 73-2313 有線 2301 HPアドレス <http://www.school.umic.jp/soehi/>

子ども達が「にこにこ笑顔で」生きていくことができる「あいさつ」めざして・・・

## あいさつについて 「みんなで育てよう真田っ子を」アンケートから・・・

今回は、**保護者への「あいさつの輪をひろげていくためにどんな取り組みをしていったらよいか」**というアンケート項目についての回答の一部を紹介します。

- ・ 子ども達にこちらから挨拶の声かけをすることが大切だと思います。真田中の生徒さんは必ず挨拶してくれますし、こちらから声かけしてもよい返事が必ず返ってきます。大人の方が学ばなければ、と思うことがあります。
- ・ 親や先生たちが挨拶をしていなければ子どももやらないと思う。子どもは親の姿を見ているので、親の私達がしっかりやらなくてはいけない。
- ・ 挨拶をするときは、その人の目を見て挨拶するように心がけたいと思います。
- ・ 学校や地区でのすべての行事で、まず挨拶から始めるようにする。そして、**挨拶と同時に笑顔になる**ことをさせてみる。始めはわざと笑顔を作っているけど、笑顔になるだけで自分も人も明るくなると思うので。
- ・ **大人同士もよい交流をしながら子どもたちのお手本になるように心がけたいです。**大人から進んで子どもたちに声かけやすくなるよう、自分のクラスの子もだけでなく、他のクラスの子もたちと交流ができる機会があるとありがたい。
- ・ 挨拶をしていても声が小さかったり、顔を見ないでしたりする子供がいます。恥ずかしかったり、面倒くさかったりそれぞれなのかもしれませんが、相手に通じなかったらその人に伝わらないと思う。**人前で大きな声で話す練習などをすればどうでしょうか。**

傍陽小 二学期前半のあいさつ目標

**すぐに伝えよう「はい」の返事!**

**自分からあいさつ!大きな声であいさつ!**

アンケートには、挨拶に対して前向きなご意見を多くいただき、心強く感じました。中に、こんな記述もありました。「まず、自分から～の意識をもつといいのではないのでしょうか・・・」...家庭でも地域でも、子どもに教える前に「大人が手本」「まず大人から～」ということですね。私たち教職員も同じことです。たとえ朝、家庭で何があっても(??)「子どもの手本になるいい挨拶」を心がけなくてははいけませんね。

子ども達が「こつこつ光る汗を流す」ことができる「清掃」めざして・・・

## 清掃の向上に向けて

9月に開催した「学校評議員会」で・・・「掃除の手本は地域のお年寄り。ちゃんとした掃除の仕方を身につけているから、そういう人から教わるようにしたらどうか」という助言をいただきました。

そこで、さっそくふれあい伝承広場で来校していただいた長寿会役員の方に協力をお願いしました。子ども達に雑巾やほうきの正しい使い方を教えていただこうと考えています。ご協力よろしくお願ひします。ご家庭では、なかなかなくなってきた雑巾がけや掃き掃除ですが、時々子どもに教えていただけるとありがたいです。

10月6日の放課後、職員で清掃についてこんなことを話し合いました。・・・

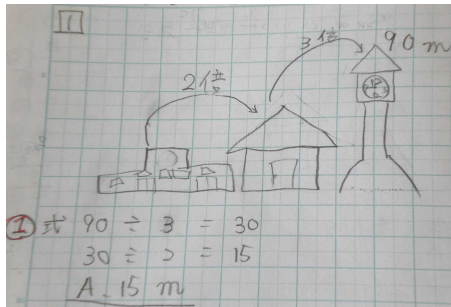
「ほうきの使い方は、柄の持ち方やゴミの集め方、濡れ新聞紙を使う方法などの工夫も教えたい。」「掃除のやり方に慣れるまでにある程度の時間は必要、分担場所はあまり頻繁に変えない方がいい」「掃除は「時間がきたから終わり」ではなく「きれいにしたら終わり」という意識をもつようにしたい。」「自分たちだけが使う教室よりも、「みんなが使うところの掃除の方が大事」という意識をもつことも大切。」などなど・・・ 「正しいやり方を教えたい」という意見から、「掃除に対する望ましい意識を」という意見まで、いろいろな意見が出され、職員の掃除に対する意識も高まりました。

子ども達が「わくわく夢を持つ」ことのできる、よりよい授業めざして・・・

## 「イメージ化」のための工夫

学力向上の取組 ( 10 / 1 授業公開と授業研究会・・・写真右 )

一年間で全員の教員が授業を公開し、授業での子どもの様子をもとに、より良い授業づくりについて話し合う取り組みを毎年続けています。去る1日には、6年松組の「国語」の授業「キャッチコピーをつくって真田の民話を伝えよう」の授業を全職員で参観し、その後、授業についての話し合いをもち、より良い授業づくりについて考え合いました。このような取り組みは、今月末に1年生活科で、さらに来月は3年社会の授業を公開し、研究会をもつ予定です。



( イメージ化のため取り組んでいることの一例 ……中学年 )

算数の文章問題を考えるとき、どんなに優れた計算力をもっていても、「どのような式を立てて答えを求めたらいいのかがイメージできなければ、答えを導き出すことはできません。そこで、式を立てる前に、「問題についての絵を描く」など、問題のイメージを持たせる活動に力を入れるようにして、指導しています。

(写真左は、子どもが問題を読んでイメージし、絵に描いたもの)

## 特色ある教育活動：一学期の様子と二学期の予定

今回は連載の3回目、「食農体験」と「クラブ活動(4～6年)」についての紹介をします。

活動	一学期	二学期
自ら栽培し食べる食農体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サツマイモ栽培(全校)：児童会焼き芋集会に向け、学校裏の畑に兄弟学級で植え付け、サツマイモの栽培を始めました。</li> <li>・ 二十日大根栽培(1,2年生生活)を行い、2年生の「全校のみんなにも食べてもらおうよ」という提案から、給食の一品として、全校で味わいました。</li> <li>・ 各学年の総合学習... リンゴ栽培(3年総合)、キノコ栽培(4年総合)、米作り(5年総合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年からお借りした裏山の畑で育てているサツマイモは、近所の方が悩まされているイノシシの被害にも遭うことなく、順調に育って来ています。「そろそろ収穫かな」「いつ収穫したらいいんだろ」... 児童会主催の焼き芋集会は、11月28日を予定しています。</li> <li>・ リンゴ栽培(3年総合)... 傍陽のリンゴ農家の方にリンゴの樹をお借りしてリンゴを育てています。おいしいリンゴにするため「葉摘み」「玉回し」作業をしました。</li> <li>・ キノコ栽培(4年総合)... 昨年、キノコ農家の方の指導で植え付けたキノコ、今年はシタケがたくさん採れ始めました。</li> <li>・ 米作り(5年総合)... 10月1日に稲刈りをしました。収穫したお米をどう使うか、クラスで考えています。</li> </ul>
地域に学ぶクラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域を教室とした活動、地域の方を講師に招いての活動をするねらいで、傍陽を学ぶ7つのクラブを開設。</li> <li>・ 歴史探検(社会)・・・弾正塚、洗馬神社、三島神社、耕雲寺など地域の史跡探検をしています。</li> <li>・ 山野草自然探検(理科)・・・洗馬川や傍陽川などに行き、水生生物などの自然の様子を調査しています。</li> <li>・ 郷土料理(家庭科)・・・お家に教わりながら「よもぎだんご」や「おやき」などの料理をつくり味わっています。</li> <li>・ 地域交流(総合・福祉)・・・OIDEYOハウス、アトリエFUUなどの施設に訪問して交流活動をしています。</li> <li>・ 陶芸民芸(図工)・・・鶴岡先生(菅平中の先生)を講師に、さくら窯を利用して、皿などを作っています。</li> <li>・ 昔の遊び(体育)・・・長寿会役員の方を講師に、水てっぽう・お手玉・コマ回しなどの遊びを楽しんでいます。</li> <li>・ 民話創作(国語)・・・「因幡の白ウサギ」のお話を紙芝居にしています。完成したら発表する予定です。</li> </ul>	

